

# ダントツ®水溶剤

■種類名：クロチアニジン水溶剤  
 ■有効成分：クロチアニジン----- 16.0%  
 ■化管法指定物質：クロチアニジン [第1種] ----- 16.0%  
 トリウムアルキルホスホネート（アルカの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。）及びトリウムヒドロキシアルキルホスホネート（アルカの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。）並びにこれらの混合物 [第1種] -- 3.0%

■登録番号：第20798号（住友化学登録）  
 ■毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）  
 ■登録初年：2002.04.24  
 ■性状：青緑色水溶性細粒  
 ■有効年限：5年  
 ■包装：500g×20袋

## 【特長】

- 浸透移行性に優れ、低濃度で高い殺虫活性を示す。
- カメムシ目、ハエ目、コウチュウ目、チョウ目、アザミウマ目、バッタ目の各害虫に対して経口又は経皮的に作用し、高い防除効果を示す。

## 【適用内容】（2024年11月末日現在）

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ イネドロオイムシ イネアザミウマ	4000	60~150 ℓ/10a	収穫7日前 まで	3回 以内	散布	4回以内 （直播での場合は種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内）
	ウンカ類 カメムシ類 イネドロオイムシ	1000	25 ℓ/10a				
稲 （箱育苗）	ウンカ類 フタオビコヤガ ツマグロヨコバイ	200 高密度には種する場合は 50g/10a （育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ） 1箱当り2.5~5g （希釈倍数100~200倍）	育苗箱 （30×60×3cm、使用土壌約5ℓ） 1箱当り500ml	移植3日前 ~移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内 （移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内）
	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	200~400 高密度には種する場合は 50g/10a （育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ） 1箱当り1.25~5g （希釈倍数100~400倍）					

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ マエアカスカシノメイガ	2000~ 4000	200~ 700 ℓ/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	2回以内
	カメムシ類	2000					
りんご	カメムシ類、キンモンホソリガ ギンモンハモグリガ シンクイムシ類、リンゴワタムシ アブラムシ類、ケムシ類 コナカイガラムシ類 コガネムシ類成虫	2000~ 4000			3回 以内		3回以内

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	知アジソンを 含む農薬の 総使用回数	
なし	シンクイムシ類、カメムシ類 アブラムシ類、ケムシ類 コナカイガラムシ類 チュウゴクナシキジラミ	2000～ 4000	200～ 700 ℓ/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回以内	
すもも	クビアカツヤカミキリ カメムシ類、アブラムシ類	2000		収穫3日前 まで				
もも	アブラムシ類、カメムシ類 モモハモグリガ、シンクイムシ類 コガネムシ類、クビアカツヤカミキリ	2000～ 4000 2000		収穫7日前 まで				
ネクタリン	アブラムシ類、カメムシ類 モモハモグリガ、シンクイムシ類 コガネムシ類	2000～ 4000		収穫3日前 まで				
おうとう	オウトウショウジョウバエ カメムシ類	2000		収穫前日まで	2回 以内		2回以内	
うめ	ケシキスイ類、クビアカツヤカミキリ ケムシ類、カメムシ類 アブラムシ類	2000～ 4000			3回以内		無人航空機 による 散布	6回以内 (樹幹散布は 3回以内、 散布及び無 人航空機散 布は合計 3回以内)
ぶどう	コナカイガラムシ類 チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ ブドウトラカミキリ カメムシ類、コガネムシ類	2000～ 4000		収穫前日まで				
かんきつ	アブラムシ類、ツノロウムシ ミカンハモグリガ アザミウマ類、ケシキスイ類 コアオハナムグリ コナカイガラムシ類 ゴマダラカミキリ、ミカンバエ カメムシ類、アゲハ類 アカマルカイガラムシ ナシマルカイガラムシ ミカンキジラミ、コナジラミ類 アオバハゴロモ	24			4～8 ℓ/10a			
	カネタタキ	2000			200～ 700 ℓ/10a			
		24			4～8 ℓ/10a			
		48	8～16 ℓ/10a					
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ、ゴマダラカミキリ	20	100 ml/樹		収穫150日前 まで	樹幹 散布		
	ミカンキジラミ	40	200 ml/樹					
かき	アザミウマ類、コナカイガラムシ類 カメムシ類、カキノヘタムシガ カキノヒメヨコバイ	2000～ 4000	200～ 700 ℓ/10a		収穫7日前 まで	散布	3回以内	
マンゴー	アザミウマ類 コナカイガラムシ類			収穫3日前 まで				
いちじく	アザミウマ類 カミキリムシ類	2000	2000					
あんず	アブラムシ類	4000						
パパイヤ	ナガカタカイガラムシ ヒラタカタカイガラムシ	2000	2000～ 4000	収穫45日前 まで				
ブルーベリー	アブラムシ類、ケムシ類 オウトウショウジョウバエ	2000～ 4000						

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	07FZJINを 含む農薬の 総使用回数				
パイナップル (苗木)	パイナップルコナカイガラムシ	2000	—	植付前	1回	10秒間 苗浸漬	1回				
びわ	カミキリムシ類 アブラムシ類、カメムシ類 カイガラムシ類	2000~ 4000	200~ 700 ℓ/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回以内				
キウイ フルーツ	キウイヒメヨコバイ カメムシ類、アオバハゴロモ	4000		収穫7日前まで							
なつめ	ゴマダラカミキリ	4000		収穫3日前まで							
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類、ツマジロクサヨトウ アカスジカスミカメ										
きゅうり	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類 コナジラミ類 カメムシ類	2000~ 4000	100~ 300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	4回以内 (育苗期の株 元処理及び 定植時の土 壌混和は合 計1回以内、 散布及び定 植後の株元 散布は合計 3回以内)				
メロン	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ ウリハムシ ハモグリバエ類							4回以内 (定植時の土 壌混和は1 回以内、散布 は3回以内)			
すいか	アブラムシ類、ウリハムシ	2000					100~ 300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	4回以内 (育苗期の株 元処理及び 定植時の土 壌混和は合 計1回以内、 散布及び定 植後の株元 散布は合計 3回以内)
	ミナミキイロアザミウマ										
なす	ミナミキイロアザミウマ ハモグリバエ類 アブラムシ類、コナジラミ類 テントウムシダマシ類 カメムシ類	2000~ 4000	100~ 300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布					4回以内 (育苗期の株 元処理及び 定植時の土 壌混和は合 計1回以内、 散布及び定 植後の株元 散布は合計 3回以内)
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	2000									3回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、散布及び 定植後の株元 散布は合計 2回以内)
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類 カメムシ類	2000~ 4000					100~ 300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、散布及び 定植後の株元 散布は合計 2回以内)
	ミナミキイロアザミウマ	2000									
とうがらし類	アブラムシ類、コナジラミ類	2000~ 4000	100~ 300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布					3回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、は種後 は2回以内)
	ミナミキイロアザミウマ	2000									
だいこん	ダイコンハムシ	2000~ 4000					100~ 300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	5回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後 の散布は2 回以内、定植 後の株元散 布は2回以 内)
	アブラムシ類										
レタス	ナモグリバエ、アザミウマ類	2000	100~ 300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布					
非結球 レタス	ナモグリバエ	2000~ 4000									
	アブラムシ類										
はくさい	アブラムシ類	2000~ 4000					100~ 300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	
	アオムシ、コナガ	2000									

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	707Fジンを 含む農薬の 総使用回数
キャベツ	アブラムシ類、アザミウマ類	2000～ 4000	100～ 300 ℓ/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (定植時までの 処理は1回 以内、定植後 の散布は2回 以内)
	アオムシ、コナガ	2000					4回以内 (定植時までの 処理は1回 以内)
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	2000～ 4000					4回以内
わけぎ あさつき						4回以内	
ばれいしょ	アブラムシ類	1000	25 ℓ/10a	収穫7日前 まで	3回 以内	散布	4回以内 (植付時の土壌 混和は1回以 内、植付後は3 回以内)
	アブラムシ類 テントウムシダマシ類						3回以内 (植付前 の処理は1回以 内、植付後は 2回以内)
かんしょ	アブラムシ類	2000～ 4000	100～ 300 ℓ/10a				2回 以内
やまのいも	アブラムシ類			3回 以内	4回以内 (植付時までの 処理は1回以 内、植付後は 3回以内)		
てんさい	テンサイトビハムシ カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ アブラムシ類	100～200	1ℓ/ハ ーパ ーホッ ト1冊 (3ℓ/㎡)	定植前	1回	灌注	4回以内 (定植前の灌 注は1回以 内、散布は 3回以内)
	カメノコハムシ、アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ			収穫14日前 まで			
豆類 (種実、ただ し、だいず、 あずき、いん げんまめ、ら っかせいを 除く)	アブラムシ類	2000～ 4000		収穫7日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
だいず	マメシンクイガ	2000	100～ 300 ℓ/10a				4回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、散布は 3回以内)
	アブラムシ類、カメムシ類 フタスジヒメハムシ						4回以内 (は種時の処 理は1回以 内、は種後は 3回以内)
あずき	アブラムシ類 マメホソクチゾウムシ	2000～ 4000			3回以内		
いんげんまめ	アブラムシ類 カメムシ類			収穫前日まで			3回以内
	インゲンマメゾウムシ	2000					4回以内 (定植時の土 壌混和は1回 以内、散布は 3回以内)
にがうり	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類	2000～ 4000					

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	7F7JZINを 含む農薬の 総使用回数		
チンゲンサイ	ハモグリバエ類	2000	100～ 300 % /10a	収穫7日前 まで	3回 以内	散布	4回以内 (は種時及び 定植時の土 壌混和は合 計1回以内、 散布は3回以 内)		
	アブラムシ類	2000～ 4000		収穫前日まで			3回以内	3回以内	
オクラ	収穫7日前 まで			3回以内			4回以内 (植付時まで の処理は1回 以内、植付後 は3回以内)		
れんこん	クワイクビレアブラムシ	2000～ 4000		収穫3日前 まで	3回以内		3回以内		
豆類 (未成熟、 ただし、 えだまめを 除く)	アブラムシ類	2000		収穫前日まで	2回 以内		3回以内	4回以内 (は種時の処 理は1回以 内、は種後は 3回以内)	
えだまめ	アブラムシ類、カメムシ類 フタスジヒメハムシ								マメシクイガ
	アブラムシ類								
はなっこりー	アブラムシ類	2000		収穫前日まで	2回 以内		3回以内 (定植時の土 壌混和は1回 以内、散布は 2回以内)		
ブロッコリー	アオムシ、コナガ	2000		収穫3日前 まで	3回 以内		4回以内 (定植時まで の処理は1回 以内、定植後 の散布は3回 以内)		
	アブラムシ類								
非結球 あぶらな科 葉菜類 (こまつな、 チンゲンサイ、な ばな類、みず なを除く)	アブラムシ類	2000～ 4000	収穫7日前 まで	3回 以内	3回以内				
みずな					4回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、散布は 3回以内)				
こまつな かぶ	アブラムシ類	2000～ 4000	収穫3日前 まで	3回 以内	3回以内				
しゅんぎく	アブラムシ類、ハモグリバエ類								
ほうれんそう		4000	収穫前日まで	1回	1回				
みつば		2000～ 4000	収穫3日前 まで						
パセリ	アブラムシ類	4000	収穫14日前 まで	2回 以内	2回以内				
せり		2000	親株養成期 但し収穫45日 前まで	2回 以内	2回以内				

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クアジリンを 含む農薬の 総使用回数		
セルリー	アブラムシ類	2000～ 4000	100～ 300 ℓ/10a	収穫3日前 まで	3回 以内	散布	4回以内 (定植時の土 壌混和は1回 以内、散布は 3回以内)		
	ハモグリバエ類	2000							
にら	ネギネクロバネキノコバエ	2000～ 4000		収穫前日まで			3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回 以内、定植後 の散布は3回 以内)
	アブラムシ類、ネギアザミウマ	4000							
にら(花茎)									
アスパラガス	アブラムシ類、ネギアザミウマ ジュウシホシクビナガハムシ カメムシ類	2000～ 4000							
とうがん	ミナミキイロアザミウマ	2000							
食用へちま	アブラムシ類								
かぼちゃ	アブラムシ類 ウリハムシ	2000～ 4000							
	カボチャミバエ								
くわい	アブラムシ類								
みょうが (花穂)	ナスコナカイガラムシ	2000				散布、但 し花穂の 発生期に はマルチ フィルム 被覆によ り散布液 が直接花 穂に飛散 しない状 態で使用 する	3回以内		
みょうが (茎葉)									
さんしょう (果実)	アザミウマ類	4000			2回 以内	散布	2回以内		
オリーブ (葉)	オリーブアナアキゾウムシ マエアカスカシノメイガ								
茶	マダラカサハラハムシ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ ツマグロアオカスミカメ コミカンアブラムシ	2000～ 4000	200～ 400 ℓ/10a	摘採7日前 まで	1回		1回		
	チャトゲコナジラミ	2000							

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	707ニジンを 含む農薬の 総使用回数
きく	アザミウマ類 カメムシ類、ハモグリバエ類	2000～ 4000	100～ 300 ℓ/10a	発生初期	4回 以内	散布	4回以内
	ナモグリバエ、アブラムシ類 アザミウマ類	4000	1 ℓ/m <sup>2</sup>				
ばら	コガネムシ類	2000	100～ 300 ℓ/10a	発生初期	6回 以内	散布	6回以内
	アザミウマ類	2000～ 4000					
花き類・ 観葉植物	アブラムシ類 アザミウマ類	2000～ 4000	100～ 300 ℓ/10a	発生初期	6回 以内	散布	6回以内
つつじ類	ツツジグンバイ	2000～ 4000	100～ 300 ℓ/10a	発生初期	6回 以内	散布	6回以内
デイゴ	デイゴヒメコバチ	2000	200～ 700 ℓ/10a	成虫発生 初期	5回 以内		5回以内
さくら	クビアカツヤカミキリ					6回以内	6回以内
げっきつ	ミカンキジラミ	40	200 ml/樹	生育期	6回 以内	樹幹散布	6回以内
たदैい	アブラムシ類	2000	100～ 300 ℓ/10a	発生初期	4回 以内	散布	4回以内
わた							2回 以内

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジン を含む農薬の 総使用回数
水田作物、 畑作物 (休耕地)	ヨシ、オギ、ススキ、セイタカ アワダチソウ等の多年生雑草 が優占している休耕地	カメムシ類	4000	60～150 ℓ/10a	—	4回以内	散布	4回以内

### 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- 稲（箱育苗）に使用する場合は、育苗箱の上から所定量の希釈薬液を均一に散布すること。また、軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには、薬害を生ずるおそれがあるので注意すること。
- 稲及びばれいしょに対して希釈倍数 1000 倍で使用する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- ぶどうに使用する場合、袋かけ前までの幼果期に散布すると品種によっては果粉が溶脱するおそれがあるので注意すること。
- かんきつに樹幹散布で使用する場合は、樹幹部から地際部に十分量を散布または塗布すること。
- かんきつに樹幹散布で使用する場合は、散布液が葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、葉にかからないように十分に注意すること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意すること。
- 本剤を無人航空機散布による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
  - ◆ 各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 散布にあたっては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中、薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行うこと。
  - ◆ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
  - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
  - ◆ 作業終了後は次の項目を守ること。
    - ① 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄すること。
    - ② 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- ❖ 街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。  
散布後は水管理に注意すること。  
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。  
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさげ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。